

2023年度 事務局

事務局長予定者 石井 孝佳

1. 運営方針

建設工事を行う際は、まず事前に発注書と現場の状況を把握する為の測量、場所に合わせた施工方法の立案、工事全体の工期の算出、近隣の方々への工事のご案内をしてから本体工事に入ります。道路復旧工事で言えば施工前は近隣の方へ、個々のお宅に工事のご案内をする事でご理解をいただくと、近所の方々を通った際にお声がけをいただくようになり、お気遣いをいただける事もあります。また施工中は、復旧箇所を決め切断し、舗装を剥がした後の基礎にあたる路盤を均し、締め固める不陸正整、舗装アスファルトを敷設する機械や舗装が出来た後の区画線を施工する機械等、現況の舗装厚や道幅にあった最適な機械・施工方法を、決められた工期の中で迅速で柔軟な判断により決定し、最新の機械や技術を用いて効率的に運用する事で、円滑な施工を可能とするのです。

組織運営においても、全体のスケジュールや決まっている事を早い段階で計画し、該当計画を想定した準備と、しっかりとした周知をする事が重要です。その際に必要である組織内の手続き等の事務的なものは、デジタル化したり簡略化する事で人間が割く時間の短縮と、資源の消費を抑える事で効率化を図る事が出来ます。また熊谷青年会議所は70年間人材育成運動等で一般の方々や様々な団体との関りを持ってきた組織であります。また一般の方々からは認知度が低い現状があります。今後は、今まで利用していた情報発信媒体を活用しつつ、更なる情報発信媒体の運用が必要であると考えます。

そこで2023年度事務局では、組織内では一部業務をデジタル化をし、時間と資源の効率化を図ります。効率化によって捻出出来た時間や資源は、そのまま組織の運動に転換する事が可能となり、不測の事態が起きた際の対応力の向上や、運動への推進力となるのです。近年は、メンバー数の減少傾向もあるので、組織内の事務的な業務は、更なる効率化が必要です。また組織や組織の運動の認知度を高める為に、情報発信能力を向上させる為の更なるアプローチの方法として、長期にわたりPR活動ができる情報発信媒体を用いた広報活動に取り組んで参ります。

建設業でも舗装の下地の基礎の部分である、路盤がしっかりと固まっていなくて道路としての機能を果たせません。事務局の業務も表には出ない部分ではありますが、しっかりと、そして効率的に行う事で円滑で柔軟な組織となり、認知度の上った組織は一般の方々からも強く求められる組織となるのです。

2. 事業計画

- (1) 各SNSや広報媒体を用いた広報活動の実施
- (2) 定期発送や対内発信の情報を拡充
- (3) 総会・理事会の運営と設営を円滑に実施
- (4) 各大会での企画立案と催行を柔軟に実施